

## 第 1 回

## (仮称) 小牧市第 3 老人福祉センター建設検討委員会

## 議 事 要 旨

・開催日時：平成 30 年 10 月 31 日（水）10：00～11：00
・開催場所：市役所 2 階 202 会議室

## 議事要旨

(敬称略)

## 1 あいさつ

○健康福祉部長：廣畑

・本委員会の委員にご就任いただき、誠にありがとうございます。全国的に高齢化が進んでおり、本市でも、平成30年10月1日時点での高齢化率は24.0%と、全国平均の28.1%よりも下回ってはおりますが、今後も高齢者数は年々増加していくことが予想されております。



・本市では、高齢者の方がいつまでも元気に生き生きとした生活を送り続けていただくため、健康の増進や教養の向上を目的として、「野口の郷」「小針の郷」の2箇所の老人福祉センターを設置しております。「野口の郷」につきましては、今年度改築を行い、今月1日に新施設として供用を開始しました。さらに、新たな老人福祉センターの設置に対する市民の方々からのご要望も数多くいただいていることから、昨年度、久保一色地内に市内3箇所目となる老人福祉センターを建設することを決定いたしました。今年度は、新たに建設する老人福祉センターの基本構想・基本計画の策定を進めてまいりたいと考えております。

・今年度4回の委員会の開催を予定しております。委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見をいただき、より良い基本構想・基本計画にしてまいりたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 2 (仮称) 小牧市第 3 老人福祉センター建設検討委員会委員長、副委員長の選出について

※委員の互選により、小柳委員が委員長、今村委員が副委員長に選出されました。

○小柳委員長（あいさつ）

・皆様の推薦をいただきまして、本委員会の委員長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。候補地選定委員会の際にも委員長を務めさせていただき、その際には、委員の皆様のご協力により、候補地を選定することができました。今回においても、委員の皆様のご意見を十分にお伺いし、協力しながら進めさせていただければと思います。

・本市においても少子高齢化が急速に進展している状況にあります。9月12日に開催された敬老会では、75歳以上の高齢者が17,586人と非常に多いことが示されておりました。また、私が暮らす桃花台地区においても、65歳以上の高齢者率が49.4%と非常に高い値となっております。危機感を持っています。その一方で、第1、第2老人福祉センターについては、数多くの高齢者の方々に利用いただいている状況です。

・委員の皆様にはそれぞれの立場からご意見をいただきながら、最終的に計画をまとめていければと考えております。よろしくお願いいたします。

### 3 議事

#### (1) 建設検討委員会の趣旨について

※事務局（山本課長）より、建設検討委員会の趣旨説明。

#### (2) 老人福祉センターの機能と役割について

※事務局（山本課長）より、資料（1～3ページ）説明。

##### ○酒井委員

・昨年度の建設地選定委員会でも話題に出ていたかと思いますが、建設地南側にある中部電力の送電鉄塔に関して、施設建設に対する障害等については、何か考慮されていますか。

##### ○事務局：山本

・この送電鉄塔は移動させることができませんので、そのような状況を十分に考慮し、施設配置の検討を進めております。後程、改めて資料説明をさせていただきたいと思います。

##### ○桑山委員

・年齢的にまだ利用できないため詳細なことはわかりませんが、「野口の郷」が新しくなったという話は年配の方々から伺っており、とても評判が良いように思います。一点、質問ですが、資料3ページ右側のグラフでヨガやリズム体操などがありますが、このような催しは講師の方に来ていただいて教えていただけるのでしょうか。

##### ○事務局：山本

・本日ご参加いただいている委員の中に、第1老人福祉センターの管理をお願いしている稲垣委員がいらっしゃいますので、お答えいただいてもよろしいでしょうか。

##### ○稲垣委員

・ヨガやリズム体操については、それぞれ講師の方をお招きして、講座を開いています。

##### ○小柳委員長

・後程、稲垣委員には具体的に利用状況等についてご説明をいただく場を設けようと思いますので、よろしくお願ひします。

##### ○今村委員

・建設地の動線として、幅員6mの道路が整備されることにより、地区内の交通量が増え、騒音や排気ガスなどの課題が考えられますが、この地区内に残られる住民の方々から何か要望等は出ていますか。

##### ○事務局：山本

・この地区内にはいくつか私有地が含まれておりますが、地権者の方々に対して、現段階では施設整備に関する具体的なお話はしておりませんので、まだご要望等は伺っておりません。今後、検討を進めるにあたり、改めて地権者の方々へご説明をさせていただくことを考えておりますので、その際には何かしら要望等は出てくるのかもしれませんが。

##### ○小柳委員長

・それでは、引き続き4ページ以降の資料に関して、事務局より説明をお願いします。

※事務局（山本課長）より、資料（4ページ以降）説明。

##### ○小柳委員長

・事務局からの説明に関して、何かご意見やご質問等ありますでしょうか。

・なお、本委員会には「野口の郷」の所長をされている稲垣委員にもお越しいただいております。指定管理者という立場から何かご意見をいただければと思います。

○稲垣委員

- ・「野口の郷」は10月1日より新しい施設となり、この1ヶ月間で新たに150名程度の方が新規登録され、ご利用いただいています。これまでは通年で300名超という新規登録でしたので、改めて老人福祉センターへの関心の高さを感じています。
- ・また、日頃から多くの利用者にご利用いただいている諸室としては、集会室、浴室、ヘルストロン室、機能回復訓練室、食堂、交流・談話スペースが挙げられます。
- ・続いて、平成28年度利用者アンケート結果に沿ってお話をさせていただきます。まず、健康増進の項目について、「マッサージ」「入浴」「卓球」が挙げられていますが、「マッサージ」については、現在は電位治療器、背中及びふくらはぎ用のマッサージ機がヘルストロン室で導入をされています。非常に静かな空間でリラックスしていただきながらご利用いただいています。また、談話スペースにはマッサージチェアが導入されています。「入浴」については、非常に人気があり、旧施設よりも開放感があるとの声を数多くいただいています。「卓球」は、現在機能回復訓練室で行っています。さらに機能回復訓練室では、旧施設にはなかったトレーニング機器が導入され、多くの方にご利用いただいています。
- ・その他「野口の郷」では7つの健康教室を開催しています。新たに構成していただいた多目的室にて太極拳、気功、ヨガ、太鼓、運動器の機能アップなどの健康教室が開催できるようになりました。これによりまして、旧施設と比較し、健康増進の機能が充実されたと感じています。
- ・次に、教養・文化分野に関する項目として、「芸能ショー」「カラオケ」が挙げられています。いずれも集会室で行われており、非常に人気があるイベントになっています。集会室については、旧施設と同等の広さとなっており、施設内でも一番面積が大きい諸室となっています。また、ステージ上で歌や踊り、カラオケを楽しんでいただいている状況です。集会室には、老人クラブの方々や個人で来館された利用者の方々が多く集まり、賑わう場所でもあります。さらに教養・文化分野としては、文化教室として会議室や新たに構成された創作室を利用して、パソコン、英会話、折り紙、絵手紙、書道、水彩パステル画、和太鼓の教室を開催しています。そして、図書・情報コーナーの新設により、娯楽・教養・生きがいくりの場としてご利用いただいています。
- ・最後に、コミュニティ機能に関する項目について、「利用者仲間との交流」「喫茶利用」が挙げられています。交流・談話スペースは、明るく開放感がある空間となっていることから、ホテルに来た様だ、との声をいただいています。また、食堂についても景観を楽しみながらくつろげるようになっていきます。来年春の全面オープンになりますと、食堂専用の出入口が設けられますので、多世代間の交流も期待できるかと考えています。

○小柳委員長

- ・ありがとうございました。指定管理者という立場から改築された「野口の郷」の利用状況についてご説明をいただきました。本日は学識経験者として中村昭典委員にもご出席いただいておりますので、ご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

○中村昭典委員

- ・まず、学識経験者という立場から本委員会に参加させていただく意味について、私なりに少し考えてみました。今回の（仮称）第3老人福祉センターは、この地域の老人福祉に貢献するという明確な目的が定められているかと思います。また、今回の施設整備に伴い利用者ニーズを把握していることや、「野口の郷」や「小針の郷」といった前例もあることから、これまでと同じような老人福祉センターを整備するのであれば、私どものような第三者が意見を申し上げる必要はないのではと思っています。

## 議事要旨

- ・ただし今回は、これまでの2施設とは異なり、田県神社前駅直近という立地性が大きな特徴となっているかと思えます。この場所は、当大学におけるスクールバスの発着所となっており、数多くの学生がこの場所を利用していることから、私どもにとっても非常に身近で大切な場所だと考えています。
  - ・駅前にあるタリーズというカフェでは、学生が乳幼児向けに絵本の読み聞かせを行っており、これが多くの方に利用していただく要因の一つだと伺っています。このように、老人福祉センターにおいても、元々ある機能・目的に加えて、新たな要素を追加することによって、これまでにない利用の仕方や新しいユーザーの創出につながると思います。
  - ・多世代の方が利用する交通の要衝であるこの場所で今回施設を整備する訳ですから、この立地性を活かして、新たな機能や目的などを加えて老人福祉に寄与することができる施設を整備することも大切なことではないかと思っています。そのためには、施設を整備してからではなく、整備する前の段階で考えていく必要がありますので、その辺りに関して期待をされて今回参加させていただくことになったと考えています。
  - ・当大学には様々な学生や教職員がおり、この場所を身近に感じておりますので、今回の施設整備に関して何かしら貢献できるのではないかと考えています。また、当大学だけではなく、近隣大学等にもお声掛けいただくことで、相互に協力していただける部分もあるかと思えます。せっかくの機会なので、ぜひ活用していただければと思います。
  - ・例えば、当大学には保育園の先生や幼稚園教諭を育成する教育保育学科や食育につながる管理栄養士を養成する管理栄養学科などがあります。また、昨今ではアジアからの留学生を数多く受け入れており、日本人とは少し違う感覚を持ち、この先日本で就労したいと考えている若者たちがたくさん学んでいます。そういった特徴もありますので、学生と老人の皆さんとが何か交流する機会を通じて、貢献できることがあれば考えていきたいと思えます。
- 小柳委員長
- ・ありがとうございました。大切なお話をいただいたような気がします。特に老人福祉センターといえども、世代間の交流ができるようなそういった考え方も必要ではないかということ、若い人達が飛び込んでくるようなそういう雰囲気づくりをする、あるいは施設づくりをする、そのような立場からご意見をいただいたかと思えます。
  - ・他の委員の方から、ご意見等はありませんでしょうか。
- 中村豊子委員
- ・中村昭典委員のお話をお伺いして思ったのですが、教養・文化分野の中に図書館やネット利用がありますが、このような機能の中に、学生が講師やボランティアとして入っていただくことはできないのでしょうか。
- 中村昭典委員
- ・恐らくできるかと思えます。当大学には小規模ながら図書館がありますので、何か貢献できる方法があるかと思えます。例えば、当大学の図書館に、老人の方々が知りたい内容の図書があれば、それらを交流させて使っていただくことは十分可能かと思えます。
- 桑山委員
- ・老人福祉センターは60歳以上の方しか入れないのでしょうか。例えば、利用者の付添の方や学生などは、入ることは出来ないのでしょうか。
- 事務局：山本
- ・老人福祉センターは条例で60歳以上の方と規定していますが、「小針の郷」では毎週土曜と第3日曜に市内在住の方に限って年齢に関係なくご利用いただけるようにしています。

## 議事要旨

- ・今回改築した「野口の郷」や、今後整備する（仮称）第3老人福祉センターにおいても、一般開放を行う日を設けることも想定しています。

### ○中村昭典委員

- ・例えば、老人福祉に寄与するという目的を外さずに、その目的のために違う世代が協力をするということであれば、目的外利用にはならないかと思しますので、使えるというように解釈してもよろしいでしょうか。

### ○事務局：山本

- ・利用者という位置付けでいうと難しいかと思いますが、利用者に関わる立場としての参加であれば可能かと思えます。

### ○小柳委員長

- ・ご意見をお聞きして、これからは若い世代の方々にも積極的に参加していただきながら、老人福祉を充実させることが大切なことではないかと感じました。
- ・他にご意見がないようでしたら、本日の議事について終了とさせていただきます。

## 4 その他

### ○小柳委員長

- ・続きまして、次第4のその他に移りたいと思います。事務局より、説明をお願いします。

### ○事務局：白木

※今後の委員会の予定について説明。

### ○小柳委員長

- ・ありがとうございます。事務局より、今後の会議日程についてご報告いただきました。年末から年度末にかけ、皆さんお忙しい時期だとは思いますが、積極的にご参加いただきまして、ご意見をいただければと思います。よろしくお願いたします。
- ・それでは、これをもちまして第1回（仮称）小牧市第3老人福祉センター建設検討委員会を閉会いたします。皆様、ご協力いただきありがとうございます。

以 上